



2021年5月19日

トヨタモビリティ東京株式会社 交通遺児等育成基金に150万円を寄付

トヨタモビリティ東京株式会社（社長 片山 守）は5月19日、公益財団法人交通遺児等育成基金（小幡 政人 会長）に、150万円を寄付した。

当社は自動車販売に携わる会社の責務として“交通事故0”を目指し、交通安全の取り組みに力を注いできた。2002年からは交通遺児を支援するためのオリジナルのチャリティー活動「メンテナンスチャリティー」を全社で実施。車検・法定点検のご入庫1台につき、お客様から1.5円、マッチングギフトとして当社が1.5円の計3円を交通遺児等育成基金に寄付している。

2020年度は、新型コロナウイルス禍で営業活動に制約がある中、車検・法定点検で約44万台のご入庫をいただき、当社で約17万円を上乗せして150万円を浄財とした。

同活動を通じて、国際社会が目指すSDGsのゴール3「すべての人に健康と福祉を」の達成にも貢献する。

寄付式は、3回目の緊急事態宣言下で初めてリモート開催とし、当社管理本部長の阿部豊久より「交通遺児支援の一助となれば幸い」と挨拶、公益財団法人交通遺児等育成基金の菅野専務理事より「19年間という長い期間、多額の寄付にととても感謝している。コロナ禍で特に交通遺児家庭には負担が重くのしかかっているが、昨年も実施したコロナ対策給付を今年も同様に行う予定で、有効に活用させていただきたい。」との謝辞を頂いた。

当社は今後もお客様にご協力いただきながら、交通遺児の支援を継続していくとともに、交通事故0を目指し、交通安全体験教室の開催や安全支援装置付き自動車（サポカー）の普及促進に積極的に取り組んでいく。



<リモート寄付式の様子。（左）交通遺児等育成基金 菅野専務理事、（右）当社 阿部管理本部長>

以上

トヨタモビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：総務部 総務企画室 広報グループ 八木、奥山

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-7633